

## 2ハンドルバス水栓

## 施工の前に

## 安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様まで保管頂くように依頼してください。

## △注意

給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。  
正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てヤケドすることがあります。

給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。  
水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与える恐れがあります。

水栓の上に物を落したり衝撃を与えないでください。  
水栓が破損し、故障や水漏れの原因になります。

水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。【寒冷地用】  
湯水が噴き出し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。  
ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。  
(寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。)



凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



## 本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	80	使用可能水質	上水
使用環境温度	【一般地用】BF-J093B : 0~40℃ (注1)		
給水(給湯)接続	PJ1/2	圧力条件	給水圧力 給湯圧力

(注1)但し、内部の水を凍結させないでください。

ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力 A + 0.05MPa(0.5kgf/cm²)

最高圧力 0.75MPa(7.6kgf/cm²)

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

測定条件は次の通りです。

湯側ハンドルは全開です。

給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬季を想定)

給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。

ガス給湯器の設定温度は最高温です。

貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力 0.05MPa(0.5kgf/cm²)

最高圧力 0.75MPa(7.6kgf/cm²)

## その他の条件

給水圧力が0.75MPa(7.6kgf/cm²)を超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.39MPa(2.0~4.0kgf/cm²)程度)に減圧してください。

給湯に蒸気は使用できません。

給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。

温度調節を容易にするため、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

## 施工前の注意

施工途中、施工後の漏水確認や温度調節、ストレーナーの清掃を行うために通水が必要です。

水道工事と浴槽取付工事は、十分に工程を打ち合せのうえ行ってください。

給水は、上水道に接続してください。

温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。

給水配管、給湯配管が正しく配管されていることを確認してください。

逆配管では表示通りに湯が出ません。

給湯配管ができるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。

商品の表面には、直接工具を掛けないでください。

工具をかける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

開梱・取付けの際には商品の表面に傷を付けないように十分注意してください。

取付後の保守点検や流量調節のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。

必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

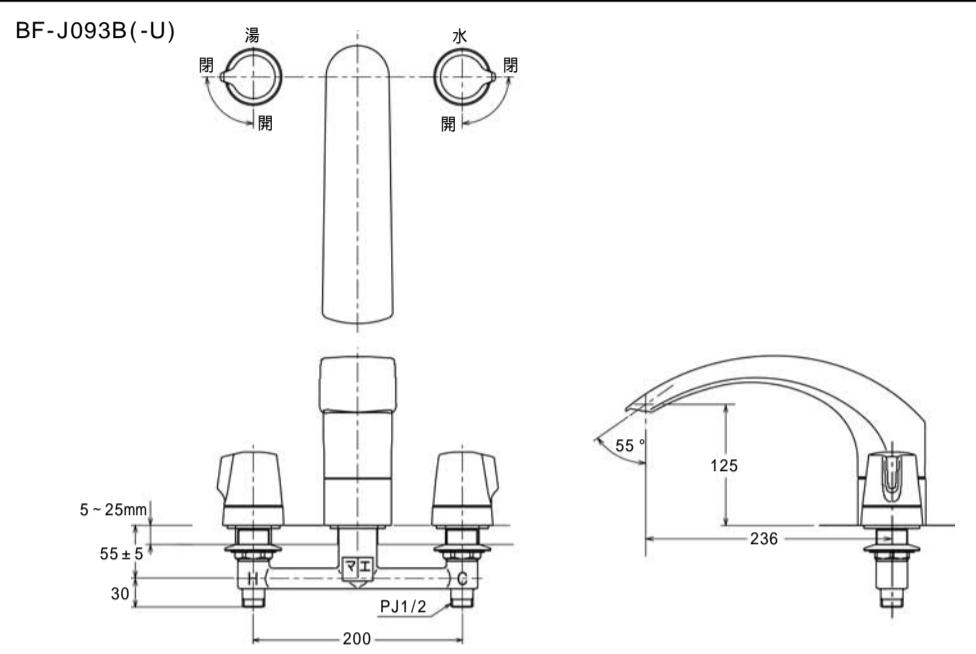
## 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客様に必ずお渡しください。

## 施工完了図



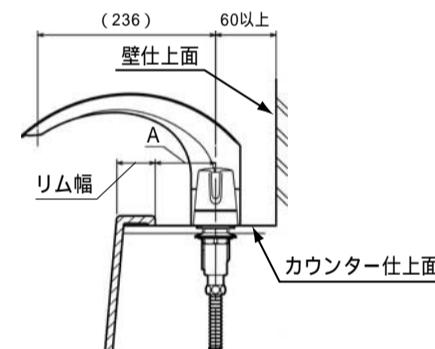
吐水口の取付穴は38~44mm、ハンドルの取付穴は32~44mmで行ってください。  
適正カウンター厚は5~25mmです。

## 施工方法

1

## 取付位置の決定

A寸法は浴槽のリム幅によって異なりますが、最小でも40mm以上は確保してください。また、リム幅+A寸法が150mm以下になるように設定してください。



## 注意

必ず左図の寸法の範囲内で施工してください。  
芯出しが不十分だと水栓の取付けや浴槽内への吐出の障害となる恐れがあります。

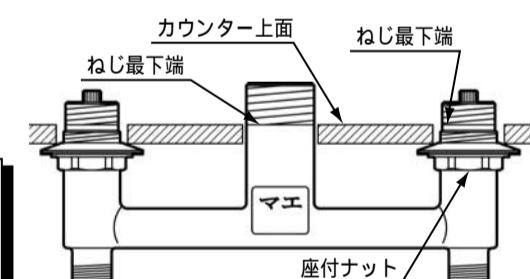
2

## 座付ナットの調節

カウンター上面とねじ最下端位置が一致するように座付ナットを調節します。

## 注意

上面を、タイル、石材等で仕上げる場合、ねじ最下端位置を厚み分調整してください。



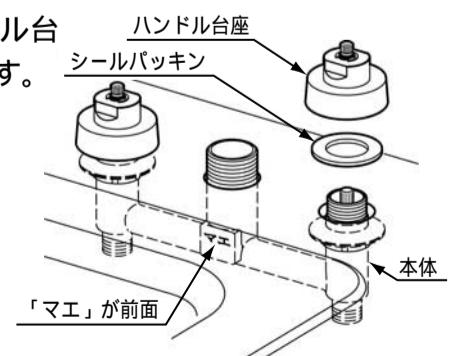
3

## 本体の固定

シールパッキンを通して、ハンドル台座で本体をカウンターに固定します。

## 注意

本体に表示してある「マエ」を浴槽側に向けて取り付けてください。逆に取り付けると、吐水口が取付けできません。

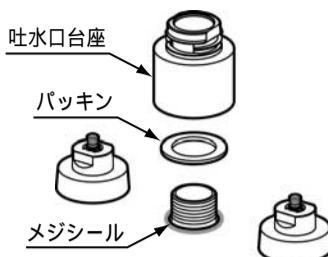


4

## 吐水口とハンドルの取付け

### 1. 吐水口台座の取付け

パッキンを通し、吐水口台座を取り付けます。上面タイル仕上げの場合は目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布してから、台座を取付けます。



#### 注意

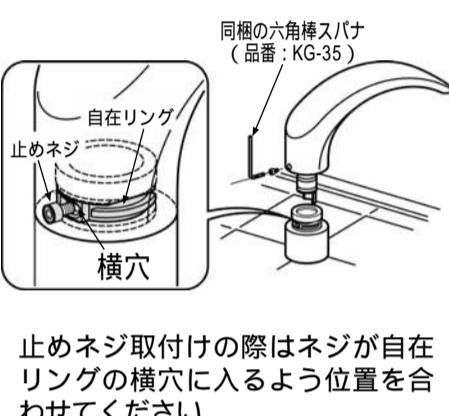
はみ出したメジシールはよくふき取ってください。

### 2. 吐水口の取付け

吐水口台座にスリップワッシャーと吐水口をはめ込み、止めねじで吐水口台座に固定します。

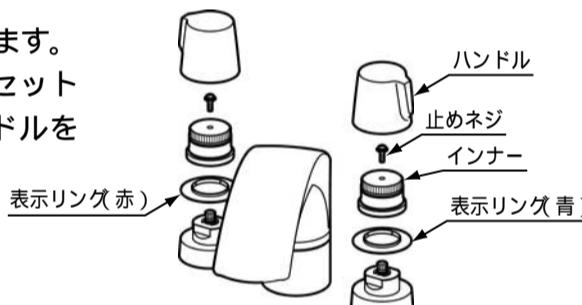


#### ポイント



### 3. ハンドルの取付け

表示リングを台座にセットします。インナーをハンドル台座にセットし、ねじで固定したらハンドルを押し込みます。



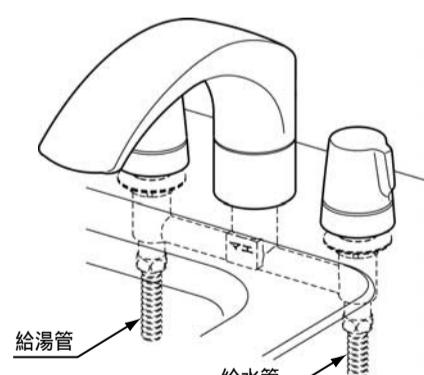
#### 注意

ハンドルの向きは「施工完了図」を参照してください。

5

## 給水・給湯配管の接続

本体に給水・給湯配管を接続します。

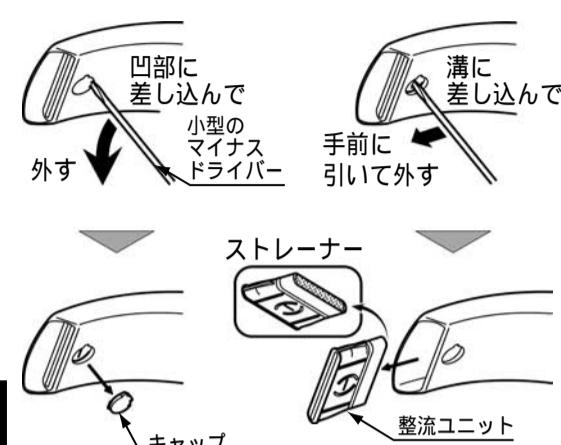


## 施工後の調節

### 吐水口ストレーナーの清掃

ストレーナーにゴミが詰まるると十分な流量が得られず、機能を低下させます。

右記の手順で吐水口先端の整流ユニットを取り外して、ストレーナーに付いたゴミを水で洗い流した後、元の位置に取付けます。



#### 注意

取付けの際は整流ユニットを最後までしっかりと差し込みキャップをパチッと音がするまではめ込んでください。

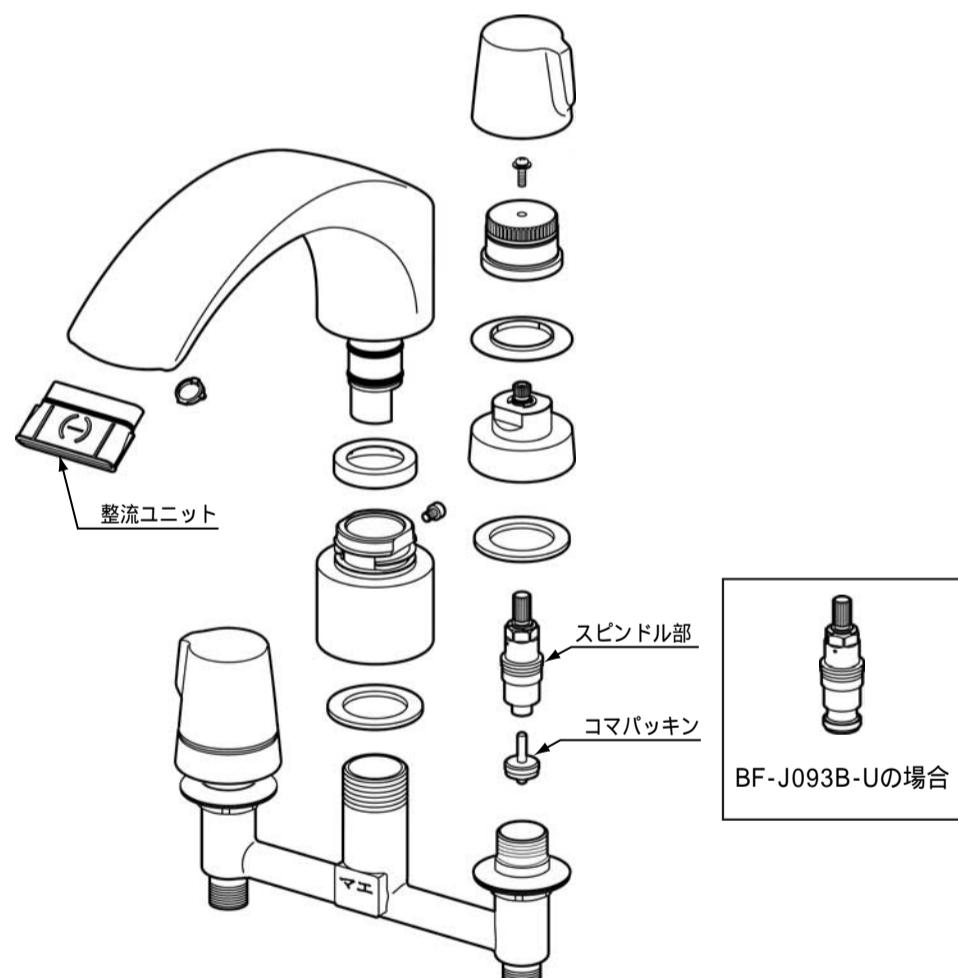
## 引渡前の確認

お客様に引き渡すまえに以下の現象がないか確認してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か? 配管途中に大きな抵抗はないか? 整流ユニットにゴミ詰まりはないか?	① ②	「本製品の仕様と使用条件」の項参照。 抵抗となる障害物を取り除く。 ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか? キズはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。

点検箇所は下図を参照してください。

スピンドル部は専用工具「KG-5」にて取り外してください。



6

## 漏水の有無の確認

通水して接続部より水漏れがないことを確認します。

